

## 高木伐倒 事例紹介: 松阪市嬉野町N様宅

実施月日: 平成21年12月15日(火)晴、10:30~15:30

参加者: グリーンボランティア「森林づくり三重」会員有志: 大小出勝次、宮田敏雄、川勝一由、山田俊雄

備考: 嬉野町、社会福祉センターからの要請が大小出勝次さんにあり、グリーンボランティア

「森林づくり三重」の仲間有志で、応援対処となった。



問題の高木は、一人住まいのお年寄りの住む、民家の裏に生えていた。裏は田んぼにつながる。

太い幹は二股に伸び、枝が横に茂り、一部は屋根の上に伸びている。



### 伐倒手順:

参加者で協議し、決めた作業手順は、周知徹底させる。

周囲の枝を切り落とす。伐倒方向は、田んぼ側であり、木の重心を田んぼ側となるように、家側の枝を切る。

切り落とした枝は、小さく刻んで敷地内に積み重ねておく。

屋根の上の枝は、屋根に上って、1本ずつ切り、下へ落とす。

写真左: 下枝が切り落とされすっきりしてきました。



幹は二股になっています。田んぼ側に近いほうの幹に受け口を作りました。木の周囲を片付けます。伐倒は写真手前の幹から、行います。ロープは2本、上方の枝につけ、突っ込み切りをいれ、楔を打ち込んで、追い口切り、そのあと、2方から引っ張って倒しました。



今度は家に近いほうの幹に受け口を作りました。ブロック塀の上です。屋根の上に伸びた枝は、屋根に上がって切り落としました。



伐倒しました。

木は先に切り倒した幹の上に乗っかっています。

外す時も注意がいります。

重量があり、ごろんと転がる危険をはらんでいます。



注意して玉切りし、片付けて作業を終了しました。

反省点あり。

太い枝を切り落とす時、切り落とす枝ロープでくくり、隣接の枝にロープを回し、このロープ端を作業補助者が引っ張って支えようとして待機していましたが、切り落とすと同時に、枝が下に落ち、ロープをしゃくり、作業補助者を引き倒しました。落下を、人がロープを腰などに巻いて、引き留めるなどは、絶対にしてはならない。

太い枝を付けたまま、木を切り倒す時は、倒れてから木全体が、太い枝が接地した途端に、転がり、付近の作業者に枝をあて、作業者が転倒しました。回転して大けがを負わせる危険があることを念頭におき、回転範囲には絶対入らぬこと。

(写真と記録:山田俊雄)